スポーツボランティア
地域の子どもたちの体力向上や運動興味、スポーツ経験者の不足、さらに、高齢者の運動不足の解消や健康づくりのために、鹿屋市と連携し、
小学生志願者が地域の学校やスポーツ団体等においてスポーツ指導（指導委員）を安全で円滑に行えるよう支援しています。

公開講座
例年、学園の永みを学ぶしたスポーツ講座（マリンスポーツ、バッケ
トボール、バレーボール）や健康講座（水中運動教室、体幹の講座など）
15講座も開講しています。講座を通じて、地域の若者だけでなく親
族や児童から多くの参加があります。また、2020年度西尾・パリヴィ
ックへの向けた講座、かごしま県立大学や鹿屋総合教育センターとの連
携講座、東京マラソンキャンプでの講座なども開催しています。

貯金研究プロジェクト
近年大きな社会問題である日本の体力・運動能力の低下対策
に対し、鹿屋総合大学で「NIFSみんなの貯金研究プロジェクト」
として生活フィットネス（生活習慣）改善のための「家庭でできる
魅力トレーニングプログラム（趣味運動プログラム）」を作成し、その
普及活動を図っています。

学長杯の開催
学長杯として、例年、鹿屋スポーツセンターでのオープンリオレ
ース、新規の情報週間である研修を含む、地域の子ども達
を対象にしたリーグ大会を開催し、若年チームのミタサヘスポー
ツと触れ合う機会を提供しています。

高須小学校「ヨット学習との合同授業」
「特設スポーツ授業・実践：ロー海洋スポーツ」の授業の一環として、鹿屋市立高須小
学校児童へのヨット学習指導を行っています。大学生は授業の中で指導プログラムを準備し、
ロールプレイ形式の授業を経た後、指導者として高須小学校の児童に対するプラ
クを実施展開します。ロールプレイに関する講義は、対象児童の学年に合わせて構造
びやワールド・ヨットの体験飼育、基礎学習などを行います。高須小学校にとっては、海面地
域における学校の「特色ある学校作り」を模索した研究の一環となっています。

鹿屋体育大学での活動
鹿屋体育大学では、大学の若人形の寄付金、選手・授業の充実、まちづくり、地域産
業の活性化、生活習慣の推進など包括的支援策を経て、主な取
組として、鹿屋市との「スポーツ協力まちづくり推進事業」、鹿屋市のマリン
スポーツ施設整備計画への参加・協力等を行っています。

【PICK UP①】タイ王国女子バレーボール
ナショナルチーム事前キャンプ
平成20年に5月に、鹿屋市、鹿屋スポーツセンターで開催した2020年東京オリンピック
競技会代表選手団に関する準備に向け、2020年9月8日から10日まで鹿屋を
キャンプ地として開催され、鹿屋市におけるスポーツ教育と地域
の活性化を推進する目的で、選手たちの訓練を支援しました。

【PICK UP②】BlueWinds（日本版 NCAA・KANONYモデル）の一環
大学スポーツの発展を地域文化をも示すというKANONYモデルの構築に向けて、開催された地域スポーツブランドです。
平成20年度の取組は次ページをご覧ください。

国立大陽青少年自然の家との連携
相互の人的・知的資源の交流や物質資源の活用によるスポーツ体験活
動等を通じた社会貢献及び教育研修分野の発展を促すための連携・協
力推進を行っています。例年、おまくそ米スポーツキャンプでの水
学習による指導・実施などが挙げられます。

鹿屋体育大学・財産産学連携寄附研究講座
平成28年度より、鹿屋市と財産財産学会の連携推進により、鹿屋スポーツサービスマ
ンス研究センターを設立し、スポーツパフォーマンス研究、健康運動プログラム研究など
の支援を目的として「鹿屋体育大学・呑み護学連携寄附研究講座」を設置しています。

各課外活動団体の取組
各課外活動団体で、地域の小中高学生を対象とした研修会やスポーツ教室を
開催しています。また、地域連携が推進する観光大会の審判委員や運営委員、
各種スポーツ教室での指導委員を行うなど、積極的に社会・地域貢献活動に
取り組んでいます。

スポーツリフレッシュセミナー
本学と鹿児島県教育委員会との連携により、中学・高等学校、特別支援学校の保
健体育担当教員及び運動活動指導者並びに観光団体の観光客向け担当者を対
象に、観光客向けの指導者としての資格向上を図ることを目的として、体育・スポー
ツ及び健康に関する専門研修と最新のトレンドの研究を実施しています。